



VOL.60

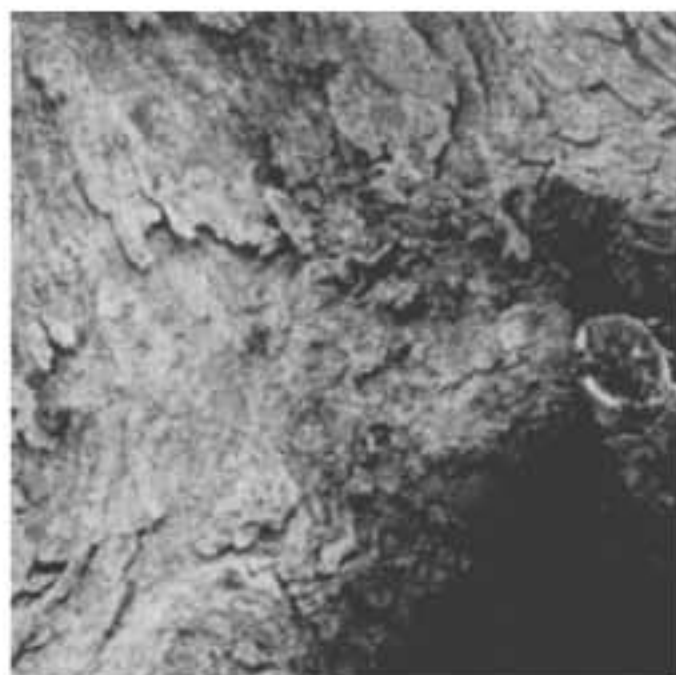
2007

SUMMER

川崎いのちの電話

Kawasaki inochi no denwa

ひとりで悩まずに ☎ **044-733-4343**



表紙写真：武藤奈緒美 <http://www.mu-cyo.com>

CONTENTS

特集

魂の声をうけとめる
～自傷するこどもたちの叫び～

小国綾子氏 毎日新聞社記者

インタビュー

「とどけ、ぼくの声」 木下航志 ミュージシャン

資金ボランティア募集

8月26日
高津市民館にて
コンサート

厚生労働省補助事業
自殺予防「いのちの電話」

下記の期間実施いたします。

2007年9月～2008年3月
毎月10日 午前8時から翌日8時(24時間)

2007年 9月10日・10月10日・11月10日・12月10日
2008年 1月10日・2月10日・3月10日

フリーダイヤル

☎ **0120-738-556**

社会福祉法人 川崎いのちの電話

特集

魂の声をうけとめる ～自傷する子どもたちの叫び～

毎日新聞社記者 小国 綾子 氏

自傷とは

自傷とは「自分の手で自分の体の一部を自殺の意図なく傷つける」のが一般の定義だと思います。注意していただきたいのは、自殺・自殺未遂とは一線をひいていること。多くの子が「生きるために切っている」と言います。ただ、一方で自殺と無関係だと言いきれないのは、実際に自殺をした人を追跡調査すると自傷経験者が結構いるためです。自傷の形態もいろいろで、一番多いのは切ること。切る場所も手首・腕が多いのですが、他の人に絶対知られたくないという子は手首を切るよりも腕、腕を切るよりも胸や太ももとか、



隠れた場所を切るようになります。あとは、たばこの火を押し付けたり、髪の毛の抜毛とか、男の子に多いのですが、壁にガンガンと頭をぶつけたり、げんこつで殴ることも含めて広く自傷と研究者は呼んでいます。

自傷の原因

いろんな背景で自傷をしますが、一つだけ共通していることがあるとすれば、自傷には何らかの効果があって、だから子どもたちはそれをするということだと思います。その効果をほしくて繰り返し自傷をする。どういう時に自傷をするか、苦しい・悲しい・寂しい・つらい・怒り・孤独・不安だとか、それで心の中がいっぱい一杯になった時に、切るとスーと落ち着くんです。ですから、医者の中には自傷行為は治療であるという人がいます。傷ついたどうしようもない心を、自分で治療するために切っている。一時的に苦しさから逃れることができるんです。ただ、ずっとその効果は続かないので、その後しばらくすると「あー、切ってしまった。私はもうだめな

んだ」と自分を責める。責めるから、さらに苦しくなってまた自傷する。その繰り返しです。だから、自傷は必ず回数が多くなっていくか、傷が深くなっていく。エスカレートしていくのもひとつの傾向だと思います。

原因はいろいろあります。親子関係から、学校でのいじめ、恋愛や失恋も多いです。女の子の仲良しグループの同調圧力の中でいじめられないように、上手に学校で振舞って、疲れ果て、苦しくなって、家に帰ってきて切る子もいます。専門家の研究では、約6割に幼少期の被虐待体験が見られるといいます。トラウマが背景にある子は確かに多いです。私が取材した中でも身体的な虐待もあったし、言葉でひどい事をずっと言われ続けてきた子も多かったです。目立ったのは親の過干渉。でも私は、親のことは責めたくない。お母さんが養護教員というケースがありました。彼女には保健室で多くの生徒たちが悩みを打ち明けて来ていました。リストカットの事例もたくさん持っていました。

川崎いのちの電話では「魂の声 リストカットの少女たち」の著者である毎日新聞社記者小国綾子氏に講演をお願いしました。激しい怒り、悲しみ、孤独、不安を抱いた子どもたちは「分かって、支えて、助けて」と叫びたいのに言葉にできず、リストカットします。そして繰り返します。私たちはどのようにしたら彼らを受けとめられるのでしょうか。

あなたは「生きていけるのなら、今は切ってもいいんだよ」と言ってあげられますか。

彼女は学校で生徒に言われたそうです。「先生がお母さんだったら私は切らなくてもいいのにね」と。でも、言われたその先生自身の子どもも切っていた。難しいのは、自傷は病名ではなく症状や行動なので、背景には精神疾患がある場合もあるし、ない場合もある。その辺の見極めが非常に難しい。私が取材した子のほとんどは、複数の医療機関に行き、行った先で全部違う病名の診断を受けていた。いかにその子たちを診るのが難しいか、だと思います。

親は気づいてほしい

私は新聞でリストカットの連載をしました。この時の反響の約9割が本人からでした。「切っています」「切っていました」「私だけではなかったのですね」「小国さんの記事を見て癒されました」。新聞は大人向けのメディアだから、普通、不登校やいじめの連載をしても、反響の多くは親など、大人からなのですが、この時は親からの反響は数えるぐらいしかありませんでした。それだけ親は知ら



ないのです。さらに、似たような手紙が2、3通あってほぼ同じ内容でした。「小国さんの記事を読んで、リストカットって皆やってるんだ、お母さんに知ってほしいと思いました。だから新聞記事を切り抜いて『こんな記事が載っていたよ』と持っていきました」。手紙の後半も同じで「お母さんはこれを読んで『こんな事をする子がいるの、あなたの学校にもいるんじゃないの』と。その夜、私はこれまでで一番深く切りました」。親に気がついてもらえないと子どもは本当に傷つきます。早く気づいてあげてほしいと思います。

私の高校時代

簡単に私のこととお話します。高校の生物の授業で血液型を調べる実験をしました。自分の血を見ると気持ちいいと知ったのが、私自身自傷するきっかけでした。溜めた血で日記を書くようになり、高校2年の一時期、日記帳は全部血でした。大学になると自傷に癒し効果がなくなってきた、自然とおさまっていったというのが私の経験です。高校時代は楽しかったです。人間とは何だろうか、自分はどう生きていくか、思春期の誰もが考える悩みの一部に、私の場合は自傷があったのです。親か

らも勉強しなさいと言われたこともないし、信頼できる友だちも先生もいたし、付き合っていた男の子もいました。つまり、どんな子でも自傷しえると言いたいのです。どうして私があんなに血で日記を書かなくてはいけなかったのか、いまだにわかりません。あの時代はインターネットもなく、情報もなく、自分だけが異常だと思えることがつらかった。しかし、逆に今の子も大変だと思う。「リストカット」という言葉でネット検索してみると、いろんなサイトが見つかります。

自傷は伝染する

アメリカのある研究者が、自傷が伝染しやすい環境として二つの要素をあげています。①ある程度行動を制限される空間で、かつ、②他人の自傷する行為を目の当たりにする機会がある空間です。だから精神病院の入院病棟と、刑務所で自傷がはやった。今の時代もそうかもしれない。中高生の特に女の子にとって、仲良しグループの中の立ち振る舞いの難しさは、ルールがなくてもあるのと同じように大変だし、その中で他の子が自傷するのをネットや友達を通じて見ることが容易になってきている。そういう時代だから自傷は広がっているし、これからもっと広まっていく予感がしています。

立ち直るきっかけ

取材して教えられたのは、自傷している子を1人では支えられないんだなと。その子の人生を変えるようなものすごいカリスマも必要だし、ずっと寄り添ってあげら

れる人も必要だし、あるいは自傷をギャグにして笑い飛ばす人もいていい。逆に少し元気になった時には、がつんと言ってくれる人も必要。突き放したり、抱きしめたり、一緒に泣いたりしてくれるいろんな人が必要で、私たちはその1人にしかなれないんです。全員にはなれない。その子はそういう人を、少しずつ増やしていくしかない。私が知る限りリストカットから立ち直ったきっかけになっているのは、新しい人間関係だし、新しい環境です。学校が変わったとか、新しい習い事を始めたとか、そこからスタートしています。

大人にお願いしたいのは、自傷に限らず全ての子どもに「大人になるのって悪いもんじゃないよ」と伝えてほしいということ。表情で、体で、行動で、言葉で伝えてあげてほしいんです。自傷している子どもたちとしゃべっていると、ほとんどが「大人になりたくない」と言うし、大人はきたないと思っている。また、自傷している自分のことをすごくダメだと思いながら、一方で、他の子がしていない自傷をしている自分は特別な存在だと思いたい。自傷をアイデンティティーにしているような子もたくさんいます。「切った?」「切らなかった?」「1ヶ月も切らないじゃない、大したもんね」と周囲が「切る、切らない」を気にしている限り、その子は切ることから自由になれない。自傷とは関係ないところでも人間関係を築いてあげてほしい。

信頼される大人になろう

私がこういう取材をして、自分の子育てに関してよかったなと

感じるのは、子どもは自分ひとりで育てちゃいけないと気づいたことです。親だからできる事がいっぱいあるのと同じように、親だからできない事がいっぱいある。子どもの成長のためには、親以外の、あるいは教師以外の信頼できる大人が周りに何人いるかが、カギになるんですよね。だから、他人の子どもにとっての信頼できる大人になろうと私は決めました。私自身がそうやって近所の子どもと付き合っていくことで、もしかしたらうちの息子にとって信頼できる大人が現れるかもしれない。その分私は、よその子にとって信頼できる大人になろう。

リストカットを解決するには、リストカットの話だけで済まないほうがいいんじゃないかということが、うまく伝わってくればと思います。今日はどうもありがとうございました。

(2月23日 川崎いのちの電話主催講演会より
文責:川崎いのちの電話広報部)



小国 綾子氏

(おぐに あやこ)

1966年大阪府生まれ。毎日新聞社記者。主に少年問題や家族問題を取材。2004年11月毎日新聞夕刊社会面に連載した「あした、会えたら リストカットの子どもたち」が大きな反響を呼ぶ。著者に「魂の声 リストカットの少女たち」「薬(ドラッグ)がやめられない」「ベイビーパッカーでいこう!」

「とどけ、ぼくの声」

木下航志さん インタビュー

盲目のミュージシャン木下航志さんをご存知ですか。なんとまだ現役高校生です。川崎いのちの電話は、来る8月26日(日)、木下さんを迎えてコンサートを開催します。ライブを聴く人に元気をくれるという木下さんをスタジオに訪ねました。

はじめまして、音楽とのかかわりについて伺います。
—こどもの頃は、日本の音楽を聴いていました。最近は、スティーヴィー・ワンダーやレイ・チャールズをよく聴きます。黒人音楽に影響を受けています。中学生のころからプロになることを意識して作曲を始めました。

中学生のころから音楽でプロとしてやっていくと？
—はい、思っていました。

それはすごいですね。音楽で伝えたいものは？
—アマチュアのころは、ただ歌えばいいという感じだったんですが、今は聴いてくださる方に、歌で表している感情を汲み取っていただきたい。自分がその時感じている、楽しい気持ちを感じ取っていただければと思っています。

木下さんにとって音楽とは、何ですか。
—宝物です。すごく励まされました。今度は、自分が音楽でみんなに恩返ししたいし、励ましてくれた音楽にも恩返ししたい気持ちですね。

木下さんを支えてくれた人は？
—1stアルバムに入っている曲「絆」は、母のために書きました。僕にとって欠かせない存在であり、大きな気持ちで受けとめてくれる大切な人です。音楽活動では、今度出した2ndアルバム「Voice」でもお世話になったマネージャーの永島さんとプロデューサーの名村さんです。二人がいなかったら音楽を続けられないです。



学校では、どんな生活ですか。音楽との両立は大変ではないですか？

—普通の、たまに変なことを言う生徒です(笑)。両立は大変ですけど、楽しいことなので乗り越えられます。

いのちの電話を知っていますか。

—聞いたことはあります。僕は死んでしまいたい程つらいと思ったことはありませんが、これから多分あると思いますので、その時はよろしくお願いします。

8月のコンサートは、どんなライブにしたいですか。

—皆さんが前進していけるような、力になるようなライブになればいいと思っています。

～インタビューを終えて～

木下さんの才能を認め、やさしく、強く、厳しく接する大人に支えられている木下さんはとても素直でポジティブな青年でした。日本の音楽界に残るような歌を歌いたい、と志も高く、そのきゃしゃな体躯から繰り出されるパワフルなライブが楽しみになりました。最後に木下さんの著書「Voice～とどけ、ぼくの声～」からこの言葉を。「僕は皆さんの顔が見えません。だから拍手をください。」

PROFILE



木下 航志
(きした こうし)

鹿児島在住、今話題の18歳の高校生ミュージシャン。未熟児網膜症のため、生後1か月で光を失う。7歳でジャズを始め、8歳から地元で数々のストリート

ライブを行い話題となる。NHKテレビ「響けぼくの歌ー木下航志14歳の旅立ち」で全国から大きな反響を呼ぶ。

2ndアルバム「Voice」、初の書籍(CD BOOK)「Voice～とどけ、ぼくの声～」絶賛発売中。

アルバム「Voice」に収録されている「遠い街」が流れる木下君出演の、京成電鉄スカイライナーCMも好評放映中。(日本テレビ「ズームイン！SUPER」)

川崎いのちの電話主催

木下 航志 コンサート

2007年8月26日(日)
15時開演(14時開場)

- 【会場】 高津市民館(マルイファミリー12F)
JR南武線「武蔵溝ノ口」東急田園都市線「溝の口」下車すぐ
- 【料金】 全席自由 3,000円
- 【振込先】 郵便振替口座 川崎いのちの電話事業推進委員会
NO.00200-1-130682
(振込み確認後チケットを発送いたします)
- 【問い合わせ】 川崎いのちの電話事務局(月～金)
TEL: 044-434-0253

受信状況

2007年1月～4月

総受信数

6,612 件

(1日平均 55.1件)

相談数

4,759 件

(1日平均 39.7件)

自殺志向

390 件

健康・医療問題を抱える相談者

病気により家族との距離が見えなくなり、孤独を感じる時に電話をかけてくる方が増えている。「今、心の揺らぎを受けとめてほしい」「つらくて生きている甲斐がない」「こうやって、つながってほしい」「話しているうちに死にたい気持ちが薄れ、心がぽかぽかしてきた」
こうして心が通った瞬間、明日への希望につながる。

内容別・性別受信状況（2007年1月～4月）

人 生	868	774
家 族	133	512
夫 婦	103	225
男 女	95	149
対 人	163	377
健康・医療	349	450
教 育	18	40
性	38	399
法律・経済 社会・環境	19	25
情 報	11	11
そ の 他	84	510

資金ボランティアとしてのご支援を！

【1】賛助会員年会費

下記からお選びください。

法人	10万円	5万円	3万円	1万円	
個人	5万円	3万円	1万円	5千円	3千円

川崎いのちの電話の活動は皆様の資金援助によって運営されています。
多くの方々にご協力をいただきますようお願いいたします。

【2】一般寄付（金額、回数は自由です）

【振込先】 郵便振替 00240-2-36798
社会福祉法人川崎いのちの電話

【問合せ】 川崎いのちの電話事務局 TEL: 044-434-0253

*寄付された個人は、確定申告によって寄付金控除が受けられます。
*寄付された法人は、確定申告によって損金算入ができます。

寄付感謝報告

2007年2月～
2007年5月

川崎いのちの電話のために、温かい資金援助をいただきました。心から感謝し、ご報告いたします。この事業の発展にこれからもご協力くださいますようお願い申し上げます。

【個人】

近藤俊朗 (3月)	小山稀世 井上美千代	稲葉武 上嶋良子	佐藤千恵子 山田美和子	越畑正 稲川菊代	匿名2名 近藤俊朗	手塚恵美 久保美矢子
(2月)	茂木直子 小泉千代子	小野岩雄 熊野信子	高橋勉 田中幸治	横内礼子 佐藤節男	(5月)	梶睦子 府川宏郎
関谷トヨ子	鈴木敏江 内田三枝	熊野信子 石原淳子	田中幸治 若泉徳栄	佐藤節男 山本武	三浦亘子	林伸郎
佐藤征一郎	寺町雅子 鈴木典子	熊野信子 石原淳子	若泉徳栄 岡田英二	山本武 中里君江	山崎彰	豊田君子
安藤資次	新井恭子 金子洋子	岡田幸雄 岡田栄子	岡田英二 岡田良子	中里君江 平山暁子	若泉徳栄	徳増信義
鈴木利朗	秦ひろみ 金子圭賢	岡田栄子 岡田良子	岡田良子 岡田祐子	平山暁子 斎藤正	丸山ひとみ	山田美和子
島崎祥子	後藤田正一 常松恭子	岡田良子 徳増信義	岡田祐子 匿名1名	斎藤正 小島良子	尾根恒	林尚子
岡田良子	富田美津子 佐野甫子	徳増信義 林伸郎	匿名1名 近藤俊朗	小島良子 時光明	小林美年子	宮原信子
千田智子	岡藤紘子 門脇美智子	林伸郎 豊田君子	(4月)	時光明 木村和枝	白井可津子	匿名1名
森清	谷貝美代子 伊藤奎助	豊田君子 山田通代	城野攻一	木村和枝 青野勇	酒井靖恵	近藤俊朗
匿名1名	布施喜作 浜井慶子	山田通代		青野勇	松本純子	

【法人及び各種団体等】

すし勘 (財)神奈川新聞厚生文化事業団 (株)ホンダ 捜真女学校・高等学部中学部 東洋ロザイ(株) (株)石井水産
神奈川式典(株) 川崎稲田ライオンズクラブ 特研4・5期生 メイグループ Cグループ 共同購入

【10万円以上の個人・法人及び各種団体等】

川崎白百合ライオンズクラブ(10万) 川崎生田ライオンズクラブ(10万)
(株)日立製作所(25万) 大和建鉄(株)(10万) 川崎いのちの電話製作部(30万)

合計 1,885,120円

募金箱の設置で以下の場所にご協力いただきました。ありがとうございました。

【募金箱】 しみず整骨医院 中国料理一番 バーデン・プレイス

編集後記

インタビューに登場した18歳のミュージシャン木下君は、幼いころから大勢の大人に囲まれ音楽活動を続けています。彼の才能が多くの人を呼び寄せたのでしょうか、家族や学校だけでない人間関係もまた、彼を支えていると感じました。リストカットについて講演をしてくださった小国さんの言葉と共通しています。子どもたちにかかわることは、大人が思っている以上に大切なことかもしれません。(N)

このところ、暗いニュースが続いています。特に子どもの虐待や子殺し、親殺し等のニュースに接すると心が痛みます。次世代を担う子どもたちをどう支えていけばいいのか。子育て支援、教育再生など政府は力をいれていますが、掛け声だけに終わらないよう、もっと身近なところで我々がお互いいたわり、助け合い、人とのふれあいが感じられるような世の中にしていかなくは・・・と思うこの頃です。(S)